

あれほど渦を巻いていた濃霧は、一体どこへ
行ってしまったのだろう。霧の海はひくく沈
んで、島のように黒い峰々が突き出ていた。
頭上の夜空にはひとひらの雲さえ認められな
かった。…ふりかえれば、ずっと右手のほうに、
大槍の怪異な姿がどつしりと黒藍色の闇空を
かぎっていた。あたりの数限りない石の群には、
月光がたわむれて奇態なかけを形造った。

『幽霊』第四章より



北杜夫(西穂高岳にて 昭和20年7月)

「どくとるマンボウ」シリーズや『樵家の人びと』などで一世を風靡した作家・北杜夫。旧制松本高等学校出身であり、信州松本が育んだ作家の世界を、当館の「北杜夫文庫」収蔵資料により振り返ります。
北杜夫さん自筆短歌の掛け軸やエッセイ原稿など、この機会にしか見られない貴重な品も展示します。

没後5年 北杜夫展

作品に描かれた信州松本

主催：信州大学附属図書館 協力：旧制高等学校記念館

期日/2016年10月4日(火)-11月7日(月)

時間/8:45-22:00(月~金) 10:00-19:00(土・日・祝)

会場/信州大学附属図書館 中央図書館1階 展示コーナー

